

TAC・W セミナー 2023・2024 年度合格目標

国家総合職内定者アドバイザーホームルーム

第4回『国家総合職合格への道～蛍雪之功～』

論述試験対策・官庁訪問の実際 Vol.1



新宿校 1月16日(月)16:30～17:30

オンライン 1月17日(火)18:30～19:30

本日の予定

1. LA の自己紹介
2. 各試験区分の記述対策
3. 政策論文対策
4. 各試験区分の勉強スケジュール
5. 官庁訪問の実際
6. 今後の告知

無断複製(コピー等)・無断転載等を禁じます。

【HR とは】

私たち国家総合職内定者アドバイザー(LA)が皆さんの勉強と官庁訪問対策をサポートする機会です。内定に近づくための6回の HR を用意しています。

基本的に月一回のペースで新宿校とオンラインにて開催する予定です。内定者スタッフが就活生だった去年の同じ時期に不安に思っていたことや、欲しかった情報などを徹底的に分かりやすくお伝えしたいと思っています。

途中入場・退出は自由です。日ごろの勉強の息抜きに、小さな悩みを解消するために、内定者にしか分からない話を聞きに、お気軽にご参加ください！

LA に寄せられた質問やその回答についてもその都度この HR で紹介したいと思っているので、そちらも併せてご利用ください。

【今後の予定】

第5回 HR

「国家総合職合格への道～努力だ。勉強だ。それが天才だ。～」

志望動機の書き方・官庁訪問の実際 Vol.2

2/1(水)18:30～19:30 オンライン

2/17(金)18:00～19:00 新宿

第6回 HR 最終回

『国家総合職合格への道～俺の敵はだいたい俺～』

一内定までの噂と真実・受験生に贈る言葉ー

3/3(金)16:30～17:30 新宿

3/10(金)18:30～19:30 オンライン

(日程・校舎にご注意ください)

目次

【LA の自己紹介】

【各試験区分の記述対策】 勉強計画の立て方／法律区分／経済区分／政治国際区分

【政策論文対策】 政策論文とは／対策方法／LA の勉強スケジュール

【各試験区分の勉強スケジュール】

【官庁訪問の実際】 官庁訪問の仕組み／官庁訪問の1日／LA の官庁訪問体験記(※別冊)

長井(国土交通省)／野里(防衛省)／橋本(文部科学省)

谷口(文部科学省)／葛西(厚生労働省)／橋本(厚生労働省)

【前回いただいた質問への回答】

【今後の告知】

【LAの自己紹介】

葛西 万由

厚生労働省/早稲田大学文化構想学部/政治・国際区分

【併願先】内閣府

【訪問先】厚生労働省

【講座】政治・国際本科生

【専攻】メディア論

【得意科目】政治学、知識科目

【苦手科目】国際法

【しておいてよかったこと】省庁イベントの参加 担任カウンセリング

【マイブーム】練り物探求

【メッセージ】

「何のために働きたいか、誰となら頑張れるか」

この原点に立ち返りながら、将来の自分と向き合うことが大切だと思います。微力ながら皆さんのサポートをさせていただければ幸いです。

HR や相談コーナーでお待ちしています♪



谷口 元軌

消費者庁/法政大学法学部/法律区分

【併願先】文部科学省、内閣府、裁判所事務官、東京都庁、国税専門官、国家一般職

【訪問先】文部科学省、内閣府、消費者庁

【講座】法律本科生

【専攻】民法（消費者法）

【得意科目】憲法、国際法

【苦手科目】政策論文、文章理解（英語）

【しておいてよかったこと】説明会等への参加、受験生同士での情報交換

【マイブーム】白玉作り

【メッセージ】

内々定に至るまでの道のりは長く険しいものですが、

同時に乗り越えた時の喜びもまた格別なものです。

そうした私たちの経験を糧として皆さんの最善の結果の一助となれば嬉しく思います。

元受験生として、同じ志を持つ者として皆さんに会える日を楽しみにしています！



野里 夏彩

防衛省/慶應義塾大学法学部/政治・国際区分

【併願先】外務省、東京都庁、国家一般職

【訪問先】①防衛省②外務省

【講座】政治・国際本科生

【得意科目】国際関係、人事院面接

【苦手科目】数的処理

【しておいて良かったこと】説明会への参加、担任カウンセリング、
HR への参加、模擬面接、友人との官庁訪問対策ゼミ

【マイブーム】味が濃いラーメン屋探し

【メッセージ】

内々定をいただくまで不安や葛藤がたくさんあると思いますが、
少しでも解消できるよう全力でサポートします。気軽に声をかけてくださいね！
一緒に頑張りましょう！



長井 優樹

経済産業省/慶應義塾大学文学部/政治・国際区分

【併願先】農林水産省・国土交通省・東京都庁

【訪問先】経済産業省、農林水産省、国土交通省

【講座】政治・国際本科生

【専攻】東洋史

【得意科目】憲法等の暗記系科目

【苦手科目】政策論文、数的処理

【しておいてよかったこと】筋トレ、小ネタ作り

【マイブーム】洋楽聞きながら自重トレーニング

【メッセージ】

社会人経験の体験や就活を 2 度経験している私ならではのアドバイスが出来ればと思います。就活という答えのない難問にともに立ち向かいましょう。



橋本 将

文部科学省/横浜国立大学経済学部/教養区分

【併願先】厚生労働省、内閣府、東京都庁、横浜市、国家一般職、
国税専門官、裁判所事務官一般職、旭川市

【訪問先】厚生労働省、内閣府、文部科学省

【講座】横国本科生

(地上国般コース国家総合職併願講座(経済区分))

【専攻】財政学

【得意科目】数的処理、財政学

【苦手科目】面接

【しておいてよかったこと】説明会計60回以上参加、勉強会

【マイブーム】マーガリン事件

【メッセージ】

内々定までにはたくさんの困難があり、誰しもがつらい、苦しい思いをします。私自身も官庁訪問までの期間は本当に苦しかったので、現在受験勉強を頑張っているみなさんに少しでも力になればと思います。一緒にこの試練を乗り越えましょう！



佐藤 凜

総務省自治分野/早稲田大学法学部/教養区分

【併願先】金融庁、農水省

【訪問先】総務省

【講座】1.5 年法律本科生、教養区分強化パック

【専攻】民法債権法

【得意科目】官庁訪問、自己分析

【苦手科目】企画提案試験

【しておいて良かったこと】説明会への参加、TAC ホームルーム・
省庁説明会等での友達作り、担任カウンセリング

【マイブーム】料理

【メッセージ】

教養区分の対策に出遅れてしまった方・苦手な方、部活・サークルなど両立を頑張りたい方、ご相談ください！官庁訪問対策も意外といけます！ゆるくおしゃべりしたい方もぜひひび〜。国総就活楽しく乗り切ろう！



高宮 康大

環境省/東京大学文学部/教養区分

【併願先】総務省、内閣府

【訪問先】環境省、総務省、内閣府

【講座】秋試験経験者区分本科生

【専攻】国語学

【得意科目】数的処理、自然科学

【苦手科目】社会科学

【しておいて良かったこと】自主ゼミ、HR 参加

【マイブーム】サイクリング(最近さぼり気味)、温泉(これからがオンシーズンです)

【メッセージ】

就職活動を通して、たくさんのつらいことがあると思います。私は「自分」と全力で向き合うことが一番大変でした。寄り道に寄り道を重ねた就職活動を経て、相談できる誰かがいることが非常に力になると感じたので、少しでも困ったことがあればカウンセリングや HR 等で気軽に LA に声をかけてください！



山口 夏未

総務省/慶應義塾大学経済学部経済学科/経済区分

【併願先】厚生労働省、内閣府

【訪問先】総務省、厚生労働省、内閣府

【講座】経済本科生

【専攻】行動経済学

【得意科目】数的処理、統計学・計量経済学

【苦手科目】文章理解、経済理論

【しておいて良かったこと】自主ゼミ、カウンセリング利用

【マイブーム】御朱印巡り(伊勢旅行を機にハマりました)、スポーツ観戦(最近は専ら W 杯ですが、一番好きなのはフィギュアスケートです！)

【メッセージ】

部活やサークルと両立したい、民間就活と両立したい、周りに公務員志望者がいないけど頑張りたい...人の数だけ就職活動の形があります。時には孤独を感じることもあるかもしれませんが、だからこそ私は LA として、皆さんの背中を押す存在でありたいと思っています。悩んだり迷ったりした時には、気軽に相談に来てくださいね。



【各試験区分の記述対策】

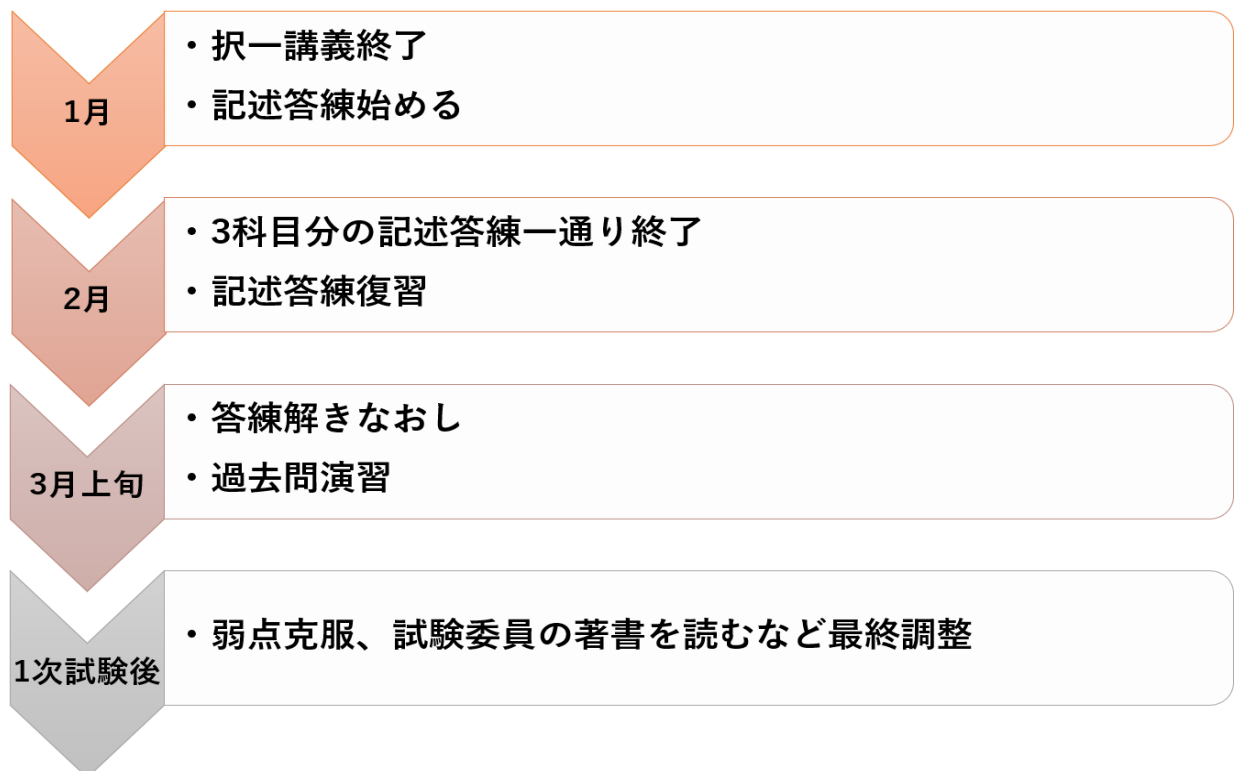
勉強計画の立て方

①逆算して計画を立てよう

一次試験から二次試験までの間は答案をたくさん書くほどの時間の余裕はありません。その時期は、過去問を見て論点を抽出し、答案構成の練習をすることがメインになると思います。3月中旬以降は一次対策に費やすことを考えると、二次試験対策にじっくり時間をかけられるのは今から3月上旬です。3月は過去問を使って答案を書く練習をしたかったので、2月のうちに各科目の答練をやり切り、提出しました。答練は基本的に時間内で書ききる感覚と集中力を養うことを目標に臨んでいました。

みなさんも択一を固めつつも2、3月で記述の対策を一通り終わらせられるように学習計画を立てましょう！

(＊参考)



②メリハリのある勉強を

勉強計画を立てる中で、区切りがあると勉強にメリハリがつきます。一番分かりやすいのは模試ではないでしょうか。1月、2月、3月に模試があるので、模試に照準を当てて勉強を進めていきましょう。模試でどの科目で何点取ることを目標にするのか、そのためにどこを補強していかなければならないのか。まずはそこを明確化します。

そのうえで、模試までの残りの日数で終わっていない答練に時間を測って取り組む、出題頻度が高い分野の過去問に取り組むといった事を日々のやるべきことに落とし込んでいくことで勉強計画を作っていきます。二次試験を照準にすると目標が遠く、イマイチ締まらない勉強になってしまうのではないかと思います。近くに目標を設定し、それに向けてやるべきことをこなしていく方が先が見えやすいです。模試などの力試しイベントごとに、二次試験での目標点に到達するために順調に勉強を進められているのかを確認し、勉強法の軌道修正をしていけると二次試験という遠い目標に向けて着実に近づいて行けると思います。

(参考:2022 年度 国家総合職試験 大卒程度 記述試験)

<u>区分</u>	<u>法律</u>	<u>政治・国際</u>	<u>経済</u>
<u>満点</u>	<u>60</u>	<u>60</u>	<u>60</u>
<u>基準点</u>	<u>18</u>	<u>18</u>	<u>18</u>
<u>平均点</u>	<u>31.378</u>	<u>32.127</u>	<u>31.964</u>

【法律区分 専門記述対策】

・講義の受け方、答練の使い方など全科目に共通するアドバイス

◎料理を作るのと同じ！材料(知識)とレシピ(書き方)が適切じゃなければ美味しいご飯は作れない！

①まずは手本通りに

茶道などでは「守・破・離」の順番で技術を習得し、向上を目指します。「守」とは、自身の師となる人の動きを模倣し型として覚えること、「破」とは、覚えた型を自分なりに変形させ自分に合った動きを身に付けること、「離」とは、そうした既存の常識と自分なりの型をかけ合わせて新しい流派を成立させることを言います。このことは学問の世界でも同じです。最初は講師や専門家、合格者の再現回答や答案例を模倣して型を覚えるべきです。具体的には法的三段論法や自分の持つ知識の活用方法を講義を通して覚えていきましょう。

ちなみに、合格までに「離」までは不要です。「破」までたどり着けば合格点だと思いますし、「守」段階であっても、しっかりと習得していれば充分だと思います。なので、まずは手本をよく見つめましょう。

②自分の手を使い泥臭く進め！

論述ができるようにならないと言う人の中には、自分の手を使っていない人が割といます。文字を書くことが面倒だからといってもサボってはだめです。問題を見たときに、しっかりとメモを作り方眼紙などに答案として文字化しましょう。頭の中で考えているだけでは、肝心なところをなんとなくぼかしてしまったり、まあいいやと飛ばしてしまうことが多いです。必ず言語化しましょう。頭の中で思っていることを言語化する特訓は面接や官庁訪問でも必ず生きてきます！

③打たれ強く生きよう

自分で書いて見直しをしても、他人からの客観的な視点は重要です。問題に対する回答になっているか、接続詞や単語の使い方が正しいか、段落分けなどは見やすいかなど様々な点が採点対象となりえます。実際の採点官は自分が会ったことも見たこともない人たちなので、他人の目によるチェックが一層重要になります。そこで活用するのが答練や対面での論述講義です。特に対面での講義はその場で講師の方からフィードバックをもらえるので非常に有用です。割と厳しいツツコミも入りますが、仕事を始めてからの方が厳しくツツコまれるはずなので、その予行練習だと思って受けに行きましょう！

全科目通して言えることは、全て事例形式で出題されるということです。このことは、実際に公務員として働き始めたときに遭遇するであろう場面を出題者側が回答者側に投げかけているものだと思います。当事者意識を持った学習が重要になると思います。

出題者「実際に仕事ではこんな場面が多いけど、君は対応していける？」

(1) 憲法

〈主な対策〉

①テキストを使っの基礎知識入れ

知識無くして論述は書けません。択一用と同じように常に知識を入れ続けることは同じです。憲法は特に判例が重要です。判例の事件名をみただけで、どのような事件か、論点は何か、結論は何かを思い出せるようにしましょう。

どうしても忘れがちな判例は Wiki など背景事情を探り記憶に残りやすくしました。ストーリー仕立てにすると忘れにくくなります。

②記述テキストを使って論証暗記

過去問に出てくる論証や、テキストの最後に載っている論証集を覚えました。といっても丸暗記するのは(おそらく)不可能なので、自分の言葉で解説したものをボイスレコーダーに吹き込んで何度も聞く、定期的にテストをするなど、工夫が必要です。

憲法は、書く練習ももちろん大切ですが、何よりもできるだけ多くの考え方に触れることが大切です。そのため、何度も答案練習をすることも重要ですが、今までに持っていなかった考え方に触れ、本番の時に初見の論証をすることができるだけ無いようにした方が良いと思います。答練や模試で出てきた論証もしっかり覚えましょう！

〈記述対策として択一の勉強で意識したこと〉

演習を行う際には、正答の選択肢から派生させて考えてみたり(ここでは〇〇事件がでたけど、関連する判例として△△事件があったななど)、誤答の選択肢がどこが間違っていてどのようにすれば正しくなるのかなどを考えましよう。ただの〇×で消費してしまうのはもったいないです！

〈使用したテキスト・参考書〉

TAC のテキスト、『憲法』芦部信喜(著)、高橋和之(補訂)(岩波書店)

(2) 民法

〈主な対策〉

①テキストを使っの基礎知識入れ

1日1単元を必ず復習し、忘れないようにしていました。時間は約1時間。

②ひたすら答案練習を繰り返す

憲法と異なり、民法の場合はとにかく答案を書いて練習をすることが重要です。民法の専門記述試験は、「具体的な事例から論すべきポイントを抽出→論証」という流れで答案を書きますが、最初の「具体的な事例から論すべきポイントを抽出」する練習をするには、たくさん答案を書くしかありません！たくさん答案を書く中で、事例から論証を引き出す練習を積みましよう。

何が問題になってるか分からん！って人は、図示することで見たことがある形だと気づけることがあります。手が止まったら図示してみることをオススメします！

〈記述対策として択一の勉強で意識したこと〉

一般条文(1条2項、709条など)は条文の解釈が特に面倒なので、判例を中心に記憶に残しました。対して即時取得などの要件がしっかりと決まっている条文は、要件を覚えることを優先し、次に

要件の解釈として判例はどのように考えているかを意識して解きました。誤答の選択肢は要件の時点で誤っているのか、解釈が判例に沿っていないのかを特に意識していました。

〈使用したテキスト・参考書〉

TAC のテキスト、『基本講義債権各論Ⅰ 契約法、事務管理、不当利得』/『基本講義債権各論Ⅱ 不法行為法』塩見佳男(新世社)

(3) 行政法

〈主な対策〉

①テキストを使っての基礎知識入れ

1日1単元を必ず復習し、忘れないようにしていました。時間は約1時間。

②テキストを使って用語の定義の暗記

行政法の特徴は他の科目以上に用語が難解なことにあります。毎日必ず用語を確認し、用法例を覚えるようにしていました。 ※処分性の定義は絶対に覚えること

③ひたすら答案練習を繰り返す

行政法は民法と同じく、答案練習を積み重ねることで点数が伸びる科目です。具体的な事例や書かれた条文を読んで、どの部分に注目すべきか・どの条文を引用すべきかなどを見極める目を鍛えていくことが必要なので、とにかく問題演習を繰り返しましょう。

行政法上の用語が上手く使えるようになれば、意外と行政法は点数が安定して得点源になりえます。ここでの行政の行動は何に当たるのか、処分性があるのか無いのかなどに注意して答案練習すべきです。

〈記述対策として択一の勉強で意識したこと〉

択一の勉強をしながら、判例を丸覚えするのではなく事例・結論・理由付けを説明したり、言葉の定義を暗記したりするようにしていました。ちなみに、私は記述練習をしている間に択一ができるようになりました。

〈使用したテキスト・参考書〉

TAC のテキスト、『行政法Ⅰ』/『行政法Ⅱ』塩野宏(有斐閣)

(4) 国際法

※万が一のためのサブ科目として用意していました。

〈主な対策〉

①テキストを使っての基礎知識入れ

1日1単元を必ず復習し、忘れないようにしていました。時間は約1時間。

②判例の背景事情を探る

国家間の争いであることからイメージがつかみづらいことが多かったため、民法と同じように常に図示をしつつ Wiki など背景事情を調べストーリーとして記憶しました。国際法はあくまで国家間を規律する法律であることを念頭に置くことが大切であるように思います。

③ある程度で答案練習を繰り返す

答案練習は当然重要ですが、他の科目と比べるとそこまで問題内容が難しいものは無かったので、他の科目を優先し、論述方法は流用することで効率良く学習しました。知識部分を中心に学習時間を確保しました。

〈記述対策として択一の勉強で意識したこと〉

択一で要求される知識量が充分に入っていれば特に国際法の論述は書くことができます。そこで、専門択一としては3問しか出題されませんが、その3問を確実に全て正答できるようにすることが論述対策となります。

【経済区分 専門記述対策】

・講義の受け方、答練の使い方など全科目に共通するアドバイス

①勉強はなるべく計画的に行う

専門記述の勉強は、講義の密度も濃く、答練も1科目仕上げるだけでも約80分かかるため、時間や体力を消耗しがちです。本番も長丁場になるため、本番直前に焦って勉強を進め、体力を使い果たすのは避けたいところ。また答練には提出期限が設定されていますが、「期限までに仕上がらず添削を受けられなかった…」というようなことがあっては非常にもったいないです！講義はなるべく日程表通りに受講し、答練もすべて期限内に提出できるように逆算して仕上げましょう。

②わからないところ、できないところをそのままにしない

講義でも答練でも、疑問点が出たらすぐに講師の方に質問をすることを意識していました。また、答練の2周目や過去問を自己採点で解く場合は、解き終わったらすぐに採点し、どこが出来ていないかを分析するようにしていました。疑問点やできないところに対しては、時間を置いてしまうと「今ならわかる/できるはず」と過度に楽観的になりがちです。そうならないためにも疑問点や自分に足りない点はすぐに解き明かし、確実にできるようにしていきましょう。

(1)経済理論

〈主な対策〉

専門記述の方が択一より難易度が高いように思われがちですが、専門記述で求められる知識は、択一の基礎～標準レベルです(難化した年はその限りではありませんが...)。そのため、問題を解いてみて全く歯が立たない場合や、解説を読んでみて意味が理解できない場合は、まず択一の問題を復習してみると良いと思います。

また記述では、択一を解く際は自明とされてきたような語句の定義や計算の説明を求められることがよくあります。当たり前のことを説明するのは意外と難しいので、何度も書く練習を重ねて、そのような「前提を問う問題」にも対応できるようにしておくが良いです。

〈記述対策として択一の勉強で意識したこと〉

上述の通り、国総の記述は「前提を問う問題」が多いため、公式がどのようにして成り立つのか、どのような時にどのような定理が成り立つのかを択一の勉強の際から意識していました。グラフを用いて理解すると、状況と定理や公式が結びつきやすく、単なる暗記にとどまらない理解ができるのでおすすめです。

〈使用したテキスト・参考書〉

TACのテキスト

(2)財政学

〈主な対策〉

記述の財政学の問題は、知識を記述する問題と計算をする問題の2つのタイプに分けられます。

知識を記述するタイプの問題は穴埋め問題や重要語句の定義を問う問題が多いです。特に穴埋め問題はほとんどの受験生にとってラッキー問題になりやすいので、過去問で間違えた問題はよく

復習して確実に点をとれるようにしたいです。また語句の定義を問う問題は、過去問を解き、苦手な分野やよく間違える語句については択一の財政学(制度)のテキストを参考にしながらまとめノートを作るといいと思います。

計算するタイプの問題は、過去問を解けば出題傾向が掴めると思います。まずは過去問の演習を繰り返し行い、時間に余裕があれば途中過程を意識して択一の財政学(理論)の問題を解くと良いでしょう。

〈記述対策として択一の勉強で意識したこと〉

知識問題に関しては、択一、記述ともに制度や定理をしっかりインプットしていることが求められていると感じたので、財政学(制度)のテキストの章末のチェック問題を活用したり、自分なりにまとめノートを作ったりして、とにかく重要な語句を暗記できるようにしていました。

計算問題に関しては、経済理論と同様のことに気を付けていました。

〈使用したテキスト・参考書〉

TAC のテキスト

(3) 経済政策(過年度)

〈主な対策〉

記述の経済政策は、問題の当たり外れが激しい印象です。経済理論で出題されてもおかしくないような計算問題が出題されることもあれば、聞きなれない経済用語を説明しろという問題が出題されることもあります。

対策としては、過去問を解き自身で出題傾向を掴むことと試験委員の先生の専門分野を押さえておくことの2つだと思います。計算問題は頻出の分野が結構あるのでそこを押さえましょう。また、経済用語を説明する問題(もちろん計算問題もですが)は試験委員の先生の専門分野が反映される可能性があるので、受験年度の試験委員の先生の専門分野は把握しておくようにしましょう。

〈記述対策として択一の勉強で意識したこと〉

計算問題に関しては経済理論と同様です。説明するタイプの問題に関しては特にありません。

〈使用したテキスト・参考書〉

TAC のテキスト

(3) 公共政策

〈主な対策〉

公共政策は政策論文対策で得た知識や記述のコツをほぼ使い回せるため、私は公共政策の記述対策として特にこれといったことはしていませんでした。しかし、公共政策は政策論文と比べて資料の数が格段に多く、時間配分には相応のテクニックが求められます。そのため、余力があれば答練や過去問を繰り返し解いて、自分なりの時間の使い方を研究しておくといいかと思います。

〈使用したテキスト〉

TAC のテキスト、日本経済新聞

【政治国際区分 専門記述対策】

・講義の受け方、答練の使い方など全科目に共通するアドバイス

①答練を提出しよう！

論述の講義を視聴したら、答練を提出しましょう。1月末までに提出しきるのが、理想のスケジュールです(提出期限を守らないと採点してもらえなくなるので注意です。)。何も分からないままテキストに書き始めると時間の無駄になってしまうので、出題範囲をしっかり学習してから臨みましょう！答案返却後は、暗記事項の漏れや文章の整合性をチェックしましょう。

②模試&過去問を活用しよう！

答練に加えて、模試と過去問演習で専門記述用の知識を上乗せしていきましょう。過去問の類題が出題されることも少なくないので、余力のある人は過去問演習に時間を割きましょう。また、模試では話題のテーマやここ数年の傾向を踏まえた問題が出題されるので、必ず受験しましょう。自分の立ち位置や、解答の良い点・改善点、時間配分の良し悪しなど、本番で役に立つ学びを得ることができます。知識不足で自信がなくなるとも受けるべき！！

③合格者の復元答案を分析してみよう！

合格者の復元答案を読むだけでかなり勉強になります。復元答案を読むことで自分が目指すべきラインが見えてきますし、文章の構成や表現を参考にできます。また、掲載されている復元答案の点数は5割～8割と幅があるので答案を見比べながら、なぜこの人の点数は高いのか/低いのかを分析して答練の際に活かしましょう。

(1)政治学

〈主な対策〉

●葛西

択一に比べて出題範囲が限定されるため、初学者でも選択しやすい科目です。頻出分野を優先するなど、分野ごとに勉強量に傾斜をつけて学習することで効率よく勉強できるようにしていました。政治過程・民主主義など、頻出テーマの用語説明を自分の言葉でまとめて暗記すると、本番も焦らずに書くことができます。また、政治学は試験委員の先生の興味関心や時事、過去の出題によって傾向が大きく変化します。直前期は試験委員の先生の著書を読んで答案に書くべきことを分析してみると良いです。

●野里

択一で知識を定着させ、演習を一通りやりました。演習では書く内容も大事ですが文章構成の組み立て方と時間配分を意識しながらやっていました。内容に関しては、葛西と同じように頻出テーマを説明できるようにするための練習をしていました。

〈記述対策として択一の勉強で意識したこと〉

●葛西

頻出テーマをノートにまとめていました。(大統領制と議院内閣制の比較、民主主義の種類、二院制の意義など)テキストの内容でも充分ですが、表や一覧を作ることで覚えやすくなるので、暗記量

が多いテーマは自分なりにまとめていました。記述対策用にやっていた訳ではありませんが、結果的に役立ちました！

〈使用したテキスト・参考書〉

TACのテキスト

(2)国際関係 A・B

〈主な対策〉

●葛西

政治学同様、出題範囲が限定されます。理論を説明したうえで、それに当てはまる or 相反する実際の歴史的出来事で補強するパターンが多いです。理論・提唱者・背景・影響を自分の言葉でまとめる練習をしましょう。また、過去問の類題が出題されるケースは少ないですが、過去問演習によって事実の因果関係や理論が理解しやすくなります。単純暗記ではなく、歴史の流れを意識して理論を抑えることをオススメします！

国際関係 B は、英文での出題になりますが、「和約して要約→理論の説明と当てはめ」という流れが一般的なので、国際関係 A と対策法を変える必要はないと思います。プラス α でやることを挙げるなら、キーワードの英訳を覚えることですかね。

●野里

演習を一通りやり、時間配分を文章構成の感覚をつかんでおきました。私は自分の所属するゼミと国際関係 A/B で出題される内容が被っていたのでゼミで扱う本を読むことを論述対策の代わりにしていました。

〈記述対策として択一の勉強で意識したこと〉

●葛西

択一の知識がベースになるので、理論・提唱者・背景・影響をセットで暗記しました。これらを端的にまとめている選択肢を問題集で見つけたら、「論述で使いまわせそうだなあ」と思ってマークをつけてました。

〈使用したテキスト・参考書〉

TAC の教材、高坂正堯「古典外交の成熟と崩壊 I / II」、飯田洋介「ビスマルク」、木村靖二「第一次世界大戦」、ウルリヒ・ヘルベルト「第三帝国」、五百旗頭真「日米戦争と戦後日本」

(3)憲法

問題文が法律区分と同じなので法律区分の対策を参照してください。

(4)国際法

問題文が法律区分と同じなので法律区分の対策を参照してください。

【政策論文対策】

・政策論文とは

政策の企画立案に必要な能力その他総合的な判断力及び思考力についての筆記試験

1 政策論文の採点方式(試験全体の 2/15)

採点方式: 職員2人が独立して採点し、合算

2022 年: 満点 10 点、基準点 4 点、平均点 6.067 点 → 6 点が目標!

得点分布: 5 点が 5%、4 点が 20%、3 点が 50%、2 点が 20%、1 点が 10%

2 政策論文の採点基準

①問題の理解

出題の主旨を正しく理解し、設問に沿った解答を行っているか。

出題に関連する基礎知識及び問題意識を有しているか。

②思考・判断

広い視野から多角的に考察しているか

問題を深く掘り下げて論じているか

既存の知識や情報を論述するだけでなく、自らの思考に基づいた意見を述べているか。

適切な判断・結論を下しているか。

③構成

論理に矛盾や飛躍が無く、論旨が明確になっているか

全体として適切な構成になっているか

④文章

文章に説得力があり、論文として格調を備えているか

正しい用字、用語で書かれているか

・対策方法

LA が使用していた参考書

TAC: 政策論文テキスト・時事(社会事情、国際事情)テキスト、復元答案集、答練

その他: 日本経済新聞(有料版)、NHK 時論公論、試験委員の先生の本、『速攻の時事』、『行政課題・政策論のポイント』

LA の勉強方法

山口(経済)

▶ 勉強方法

論文を書く練習としては、「①答練や模試などの機会を活用し、TAC の講師の方に添削していただく」「②自分で演習を行い、自己採点を行う」の2つを行っていました。②では、過去問や既に返却された答練を使用していました。自分の答案でも意外と、書きあがってから改めて読み直すと悪い点は目についたので、自己採点はかなり効果的だったと思います。

論点の引き出しを増やす練習としては、ニュースを見て自分の意見を考えてみたり、復元答案集を読んで先輩方は過去の問題に対してどのように考えていたのかを研究したりしていました。特に政策論文は独り善がりの主張にならないことも求められるため、復元答案集や政策論文テキストの解答例を読んで他人の意見に触れることができたのは良い影響だったかなと思います。

▶良かった点

練習量を多く確保できた点。論文を書く練習を多く積むことで、120 分のうち資料読解、下書き、清書にそれぞれ何分ずつ使えばいいのか、自分のスタイルを確立できました。また練習の中で私は序論に字数を多く割きすぎてしまう傾向があることも分かったので、本番では解決策にしっかり字数を割くことができるよう気を付けることができました。

▶悪かった点

計画的に学習を進められなかった点。特に4つ目の答練は締め切り直前に焦って提出したため、普段通りの実力を発揮できませんでした。専門記述とは異なり、政策論文の答練の締め切りは 3 月末に設定されているはずなので、より余裕を持って答練を仕上げるのが重要だと思います。

長井(政治・国際)

▶勉強方法

文章を書くことに慣れていない状況だったので、まずは政策論文テキストを熟読していました。しかし読んで理解はできても実際自力で書くと論理展開等が滅茶苦茶になってしまいました。苦渋の対策として、憲法のテキストの写経をしていました。学説部分はほとんど書き写しました。

その後政策論文の過去問を演習するようにしていました。その際家族に読んでもらい評価してもらうようにしていました。また、高得点者の論文とも見比べてどこを改善するといったのかを分析しました。

▶良かった点

大きく2点ありました。1つ目は論理展開がスッキリした文章を書けるようになったことです。2つ目は憲法の知識が圧倒的に増えたことです。専門記述もかけるレベルまで行けたような気がします。

▶悪かった点

もっと効率的な方法があったのかもしれませんが。憲法の写経をすることでかなりの時間を使いましたし、手も凄く疲れました。また、政策についての勉強はもう少しできたのかもと思いますが、政策知識に関しては後悔はありません。

橋本(教養)

▶勉強方法

政策論文試験の過去問を3年分だけやって、自分なりの構成や時間配分を確立させていきました。完成した文章をまずは自分で見て、論理的に筋が通っているか、行政官の考え方としてずれていないか確認するようにしていました。

▶良かった点

完成した論文をTAC・Wセミナーの講師になるべく見てもらうようにしていました。カウンセリングを利用してまずは論文を見せて、その内容を説明し、論理的矛盾のチェックやより良い答案を書くためのアドバイスをしてもらいました。「高評価を取れる論文」の書き方を一番知っているのは講師の方々だと思うので、客観的な評価をもらうのに利用するのはおすすめです。

また、実際に時間を意識して毎回書いていたので、時間間隔は身につきました。

▶悪かった点

圧倒的政策研究不足です。時間がなかったのもあり、本番は何が来てもほぼゼロベース、アイデア勝負の状況だったので、不確実性があると感じていました。でも、かならずしも用意していたものが当たるとは限らないので、逆に「全く知らない分野が来ても合格答案を書けるならわざわざ研究する意味はない」と捉えなおすことで不安要素としては扱っていませんでした。

＜対策スケジュール(春試験)＞

	山口	長井
夏	講義を受講 答練①、②の提出 & 書き直し、自力での過去 問演習 総合論文対策	なし
年末年始	答練③の提出	なし
1月	なし	なし
2月	なし	答練前講義を受講 答練①
3月	答練④の提出、論文模試	答練②、③
4月	なし(1次試験に注力)	一次試験後から高得点者の答案 研究
5月	復元答案の分析	過去問演習

【専門区分】LA の勉強スケジュール(1月～3月)

法律区分: 谷口

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
1月第1週	曜日ごとに分野を決めて、1日2問ずつ解いていた(苦手な分野は週2日にするなど調整) 本番でどの分野に時間を割くかを検討し、効率的な勉強時間配分を模索した	受講: 国際法・刑法	憲法・民法講義
1月第2週		復習: 憲法・民法・行政法 →テキストを白紙に再現できるように	民法講義 憲法・民法の論証を覚える
1月第3週		刑法・国際法 →問題集をベースに復習	
1月第4週		受講: 商法・刑法	
1月最終週		復習: 憲法・民法・行政法 →テキストを白紙に再現できるように 国際法・商法・刑法→問題集をベースに復習	
反省点	分野の切り捨てはもっと後でも良かったかもしれない	特になし	特になし

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
2月第1週	曜日ごとに分野を決めて、1日2問ずつ解いていた(苦手な分野は週2日にするなど調整) 本番でどの分野に時間を割くかを検討し、効率的な勉強時間配分を模索した	受講: 商法	民法・行政法講義、答練
2月第2週		復習: 憲法・民法・行政法・国際法(論述用) →テキストを白紙に再現できるように 国際法のみ総論、海洋法だけ白紙に再現できるように	行政法講義、答練 憲法・民法の論証を覚える
2月第3週		刑法・国際法・商法 →問題集をベースに復習	
反省点	特になし	特になし	特になし

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
3月第1週	数的処理:全分野を2問ずつ 時事:テキストで暗記	受講:商法	答練
3月第2週		復習:憲法・民法・行政法・国際法(論述用) →テキストを白紙に再現できるように	一切触れない
3月第3週	数的処理:空間把握以外を4問ずつ 時事:テキストで暗記	刑法・国際法・商法 →問題集をベースに復習	
反省点	特になし	特になし	特になし

経済区分:山口

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
1月第1週	なし	理論応用(8/10)、計量(終)	経済政策(講義)
1月第2週		国際経済、財政理論	経済理論 経済政策(講義) 政策論文
1月第3週		国際経済、財政理論	経済理論 経済政策(答練)
1月第4週		国際経済、財政理論	経済理論 経済政策(答練)
反省点	毎日コツコツやるべきだった、、、	財政制度に手を回すことができなかった、、、	なし

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
2月第1週	なし	演習:経済理論基礎、統計 講義視聴:経済理論応用	なし
2月第2週	なし	演習:経済理論基礎、統計 講義視聴:経済理論応用	なし
2月第3週	模試に向けて 文章理解と社会科学を復習	演習:経済理論基礎(完) 経済理論応用 講義視聴:経済理論応用(完) 経営学	なし

2月第4週	第1回択一模試 受験後は模試の振り返り	演習:経済理論応用 講義視聴:経営学(完)	なし
反省点	数的処理も多少は触れておくべきだったかもしれない	根詰めすぎて最後は若干体調を崩してしまった(しかしスケジュールの余裕のなさを考慮すると仕方なかった気もする...)	なし

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
3月第1週	第1回模試で振るわなかった文章理解を再度振り返り	演習:経済理論応用	なし
3月第2週	第2回択一模試 終了後はできなかった問題を振り返り	演習:経済理論応用	なし
3月第3週	なし	演習:経済理論応用 統計	なし
3月第4週	なし	演習:経済理論応用(ここで1周目が終わったくらい) 統計(完)	なし
反省点	なし	民間就活に時間を割きすぎてしまい、演習のペースが落ちてしまった...	なし

政治国際区分:葛西

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
1月	数的処理:3本立ての演習。 ①判断推理→毎日2~4問 ②数的推理→週2で90分ずつ演習。 ③資料解釈→2問15分×2で演習。	<u>必須科目</u> 視聴済みの憲法・政治学・国際関係は、それぞれ90分×週2で演習。(A・B問題を優先) <u>選択科目</u> 行政学&国際法は、それぞれ90分×週2で演習。(A・B問題を優先)	政治学・国際関係 ABの講義視聴。 1月中に答練を全て提出するために、週に1本ずつ書く。

	文章理解: 週1回1セット(現代文×2英文4)を25分以内で解く。 知識科目: 特になし	テキストに掲載されていない人名 & 理論が多かったので、テキストに書き込みした。結果、余白がなくなった。	
反省点	学期末レポートで忙しく、後半は計画通りに進まないことが多かった。忙しくても省庁イベントには参加していたので、よしとしよう。	書いた方がいいが、時間が無くて書き直しはできなかった。	

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
2月第1週	1月と同じ + 模試前に数処演習プリントをもう一度解く。	<u>必須科目</u> 1月と同じ	特になし。
2月第2週		<u>選択科目(メイン)</u> 1月と同じ	1月中に提出した答練は一旦放置して、択一模試に向けて頭を切り替える。
2月第3週		<u>選択科目(サブ)</u> 模試前に財政学 & 国際事情の講義を視聴。	
2月第4週	模試の解き直し & 弱点分析 & 時間配分の検討		政策論文の答練を1回分やり残していたことに気づき、大慌てて提出する。
反省点	模試に向けて専門科目の比重を増やした結果、専門で奇跡的な点数を取るも、数処で惨敗する。蒙古タンメンにハマリ、お腹を痛めながら勉強する日々。食事勉強もバランスが大事です。		時間があれば答練の復習もしたかった。が、なんせ省庁イベントだけでそれどころではなかった。

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
3 月	<u>数的処理</u>: 毎日1~2セット 判断推理×2, 図形×1, 数的推理×1, 資料解釈×1を40分以内で解く。 <u>文章理解</u>: 週1回1セット 現代文×2, 英文×4を25分以内で解く。 <u>知識科目</u>: 時事の講義を視聴。隙間時間に読みまくる。移動中はテキスト in my hand だよ。 + 択一模試第2回の復習と分析	<u>必須科目</u> それぞれ90分×週3で演習。 (A・B問題とミスった問題を優先) <u>選択科目(メイン)</u> 行政学&国際法は、それぞれ90分×週3で演習。 (A・B問題とミスった問題を優先) <u>選択科目(サブ)</u> 国際事情用に JAPAN Times の社説集を読む。結構おもしろい。財政学は予算を模試前に詰め込んで暗記。 + 択一模試第2回の復習と分析	月末の論述模試に向けて、サラッと答練を復習。 構成をノートにまとめて、サラッと書き直した。 + 模試の解き直し&時間配分の検討。その後は、択一に全振り。
反省点	2月模試の反省を踏まえ、数処を強化した結果、基礎能力の点数が爆上がりするも、専門はマイナス4点。バランス取るのってやっぱムズイ。厚労の職場訪問と説明会はコンプリートできたけど、事前準備と事後まとめにかなり時間がかかって、勉強時間を確保しにくかった。(謎に気が抜けて日帰り温泉に行きまくったのが悪い)		模試1週間前に駆け込んで答練の復習をしたので、結構焦った。しかも模試前々日にワクチン打って、発熱。パファリンに感謝。

政治国際区分:野里

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
1 月第 1 週	帰省中のため何もしなかった		なし。 専門記述は1次試験終了後に勉強開始。
1 月第 2 週	大学の試験勉強のため何もしなかった。		
1 月第 3 週			
1 月第 4 週	数的処理を1日1問解く	国際関係の講義視聴開始	
良かった点	得意科目の国際関係の勉強から始めたことで勉強の波に乗ることができた。		
反省点	大学の試験勉強に時間をとられてしまった。もっと早くから専門科目をやっておけば良かった。		

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
2 月第 1 週	数的処理と文章理解を1日1～5問ずつ解く。この頃から数的処理の苦手分野は捨て、取れる分野のみの演習に切り替える。	憲法講義受講	なし。 専門記述は1次試験終了後に勉強開始。
2 月第 2 週		憲法講義受講→問題演習	
2 月第 3 週		政治学受講	
2 月第 4 週		政治学受講→問題演習	
良かった点	模試で足切り点を取り、本気を出し始めたこと。一日に2～4本のペースで授業を消費したこと。		
反省点	択一模試の1週間前にワクチンを打ってしまったため、副反応で勉強計画が崩れたこと。		

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
3 月第 1 週	数的処理の資料解釈を1日2問＋その他のとれる分野の問題を2問解く。 隙間時間はラジオで世界史を勉強する。	行政学、国際法受講開始 政治学・憲法・国際関係は 10 問ずつ演習する	なし。 専門記述は1次試験終了後に勉強開始。 論述模試も山本先生に受けなくていいよと言われたので専門に集中した。
3 月第 2 週			
3 月第 3 週		財政学受講開始	
3 月第 4 週		1日 10 問×4～5科目分の問題演習をする。	
良かった点	・数的処理の苦手分野に見切りをつけたこと。 ・過去問演習を H20 年までのものに絞ったこと。		
反省点	夜2時に寝て朝9時に起きて 11 時から勉強するみたいな生活は良くなかったと思う。		

【前回いただいた質問への回答】

Q. どのようにメンタルケアをしていましたか

A. 人によって様々です。辛い物を食べたり、バンジーを飛びに行ったり、部活に熱中したりと自分に適した方法を探る必要があるでしょう。

Q. 日々読んでいた本はありますか

A. 橋本：省庁関連の本は仕方がなく読んでいました。「最近読んだ本で印象に残ったものは？」のために1冊本を買いましたが、3分の1だけ読んで挫折しました。活字苦手なら読まなくてもいいかなと思います。

長井：『知的複眼思考法』はオススメです。サンデルの本もおすすめです。大前研一もいいですよ。『学問のすゝめ』などに代表される日本の思想家の本は結構おすすめです。とにかくたくさん読んでいて損はありません。

谷口：『銀河英雄伝説』という小説を読んでいました。個人的には民主主義の重要性や行政官が常に持たなければならない視点はこれを読みながら培ったように思います。

葛西：『コジコジにきいてみた。モヤモヤ問答集』です。誰しも就活の悩みごとは尽きないものの。コジコジがこの社会の鬱憤をぶった切ってくれます。

Q. 暗記方法のコツを教えてください

A.

長井？：何か特別なことが言えればいいのですが特にありません。強いてあげるなら毎日暗記すべきものに触れることでしょうか。

葛西：私は手と口を動かして暗記していました！まずは手を動かします。講義でインプットした内容やテキストの表を、ひたすら白紙に書きおこして、半分機械的に頭に詰め込みます。次はおしゃべりです。書いた用紙を基に、先生になりきったつもりで、プーさんのぬいぐるみに授業していました。自分の言葉で喋っているうちに、流れを整理できますし、内容もグンと理解しやすくなります。プーさんでなくても、愛犬や家族、友人でもいいと思います！

高宮：なかなか覚えられないものについては、手のひらサイズのノートに赤シートで隠せる形式で一問一答を自作してました。そのノートは、絶対に毎日の行き帰りの電車で解く、と決めて繰り返し頭に叩き込んでいました。

【今後の告知】

★LA カウンセリング★

内定者アドバイザー（LA）は皆さんのご相談をお待ちしています！
在席表はマイページから別紙・マイページ・メールニュースを参照ください。
深刻な相談、息抜き、愚痴、何でも結構です！

★2月ホームルーム★

国家総合職合格への道～努力だ。勉強だ。それが天才だ。～

一志望動機の作り方・官庁訪問の実際 Vol.2ー

2/1(水)18:30～19:30 オンライン

2/17(金)18:00～19:00 新宿

予約不要、入退室自由です！

アンケートのご回答お願いします！